神戸アートビレッジセンター

11月18日［土］

Aプログラム | 開場14:00/ 開演14:30/ 終演16:30

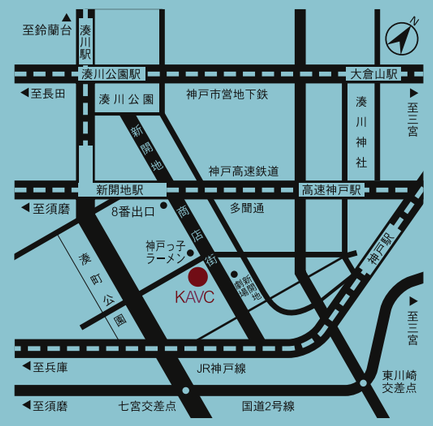
川口隆夫「大野一雄について」

Bプログラム | 開場17:15/ 開演17:30/ 終演19:00

岡登志子「手術室より」、大野慶人「花と鳥」

［チケット］全席自由・税込
一般　各公演 3,000円　AプロBプロ通し券 5,500円
学生　各公演 2,500円　AプロBプロ通し券 4,500円

［チケット取り扱い・問合せ］
□神戸アートビレッジセンター（KAVC）
TEL：078-512-5500　EMAIL：stage@kavc.or.jp
メールでのご予約は、件名を「DAP2017チケット予約」として、以下の情報をお知らせください。
【お名前／フリガナ／電話番号（連絡のつきやすいもの）／ABとも or Aプロのみ or Bプロのみ／一般 or 学生／枚数】
□NPO法人 ダンスアーカイヴ構想　制作担当：樫村千佳
TEL：03-3450-6507　MAIL：info@dance-archive.net



［アクセス］
神戸アートビレッジセンター（KAVC）［火曜休館］
〒652－0811神戸市兵庫区新開地5-3-14　TEL：078-512-5353
○神戸高速「新開地駅」8番出口より徒歩約5分
○JR「神戸駅」ピエラ神戸口より徒歩約10分
○神戸市営地下鉄「湊川公園駅」東改札口より徒歩約15分

［主催］NPO法人ダンスアーカイヴ構想
［共催］公益財団法人神戸市民文化振興財団、有限会社かんた
［協力］大野一雄舞踏研究所、アンサンブル・ゾネ
［助成］芸術文化振興基金

高知県立美術館ホール

12月9日［土］

Aプログラム | 開場14:00/ 開演14：30/ 終演16:30

川口隆夫「大野一雄について」

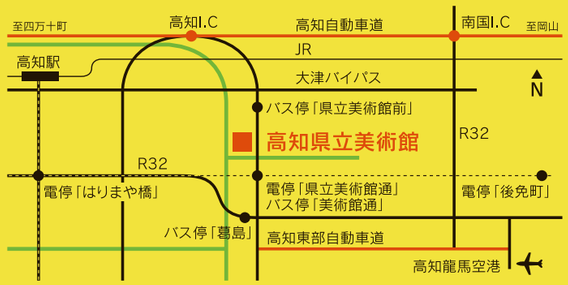
Bプログラム | 開場17:00/ 開演17:30/ 終演19:00

岡登志子「手術室より」、大野慶人「花と鳥」

［チケット］全席自由・税込　11月1日［水］発売開始
一般　各公演 3,000円　AプロBプロ通し券 5,500円
学生　各公演 2,500円　AプロBプロ通し券 4,500円

［チケット取り扱い］
高知県立美術館 088-866-8000 〒781-8123高知県高知市高須353-2
□高知県立美術館ミュージアムショップ TEL：088-866-7653（9:00～17:00）
□高新プレイガイド TEL：088-825-4335（平日9:30～17:30、土曜9:30～12:30）
□高知大丸プレイガイド TEL：088-825-2191
□ダンスアーカイヴ構想公式サイトメール予約
E-MAIL: info@dance-archive.net　以下の情報をお知らせください。
【お名前／フリガナ／電話番号（連絡のつきやすいもの）／ABとも or Aプロのみ or Bプロのみ／一般 or 学生／枚数】
※割引料金《一般2,100円・通し券3,850円／学生1,750円・通し券3,150円》身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳所持者とその介護者（1名）は3割引。

［問合せ］
□NPO法人 ダンスアーカイヴ構想　制作担当：樫村千佳
TEL：03-3450-6507　MAIL：info@dance-archive.net



［アクセス］
○はりまや橋から、とさでん交通路面電車「ごめん」、「領石」または「文殊通」行きで15分、「県立美術館通」下車、徒歩5分。
○とさでん交通バス「医大病院線」・「県立美術館前」下車すぐ。「高知県立大学・医療センター線」・「県立美術館通」下車徒歩5分。
○高知龍馬空港からは、とさでん交通バス「葛島」で下車して北東へ約900メートル、徒歩16分。
○車・タクシーをご利用の場合は、JR高知駅から約20分。高知龍馬空港から約30分、高知自動車道南国インターから15分、高知インターから10分。

高知県立美術館
THE MUSEUM OF ART, KOCHI

［主催］NPO法人ダンスアーカイヴ構想
［共催］高知県立美術館、有限会社かんた
［協力］大野一雄舞踏研究所、アンサンブル・ゾネ　［助成］芸術文化振興基金
［後援］NHK高知放送局、高知新聞社、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、エフエム高知、KSSさんさんテレビ、KCB高知ケーブルテレビ、高知シティFM放送

平成29年度第67回高知県芸術祭協賛行事

NPO法人ダンスアーカイヴ構想 | 大野一雄舞踏研究所のアーカイヴ活動を母体に2016年12月NPO法人として設立。「大野一雄」を起点に、日本のダンスアーカイヴ構築と世界のダンスアーカイヴネットワーク形成を目指しています。運営は寄付金により行っていますので、皆様のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。寄付は随時受け付けています。
http://www.dance-archive.net

Dance Archive Project 2017 in Kobe and Kochi　ダンスアーカイヴプロジェクト作品 4都市巡回公演

［会場］神戸アートビレッジセンター
［日程］2017年11月18日［土］

［会場］高知県立美術館ホール
［日程］2017年12月9日［土］

Photo : Nozomi Sakine

大野慶人
Yoshito Ohno
「花と鳥」
Flower and Bird

Photo : 松本和幸

岡登志子
Toshiko Oka
「手術室より」
The Operation Theatre

Photo : Mara Arteaga

川口隆夫
Takao Kawaguchi
「大野一雄について」
About Kazuo Ohno

ダンスアーカイヴプロジェクトは、残されたアーカイヴ資料に基づき、様々の方法で新しい表現を作り出し、歴史的な舞踊作品を再現する試みです。舞踊の歴史を考え、次世代に伝えることを目指しています。「手術室より」は、日本モダンダンスのパイオニア江口隆哉と宮操子の初期の代表作、「手術室」のたった一枚の舞台写真に触発されて生まれた小品です。「花と鳥」は、舞踏の最初の作品「禁色」(1959)に出演した大野慶人が、土方巽、大野一雄との体験、そして自分自身について直接私たちに語り、踊る作品です。「大野一雄について」は、ビデオをコピーするという型破りな方法で、「舞踏」に独自のアプローチを試みた問題作です。個性豊かな三作品を一日でご覧頂けるプログラムです。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

関連プログラム｜神戸

大野慶人パフォーマンス＆レクチャー

日時｜11月19日[日] 14:00
会場｜横尾忠則現代美術館オープンスタジオ
参加費無料(ただし要展覧会チケット)
詳細は http://www.ytmoca.jp/event/2017/11/performance-ohno.html
主催:横尾忠則現代美術館　企画協力:NPO法人ダンスアーカイヴ構想　協力:アンサンブル・ゾネ

吉川陽一郎展「歩く人」

日時｜11月9日[木]〜15日[水] ※11/13[月]休館
吉川陽一郎によるトーク11月9日[木] 19:00
会期中、「手術室より」の公開リハーサルを行います。詳しくは、アンサンブル・ゾネHPをご覧ください。
https://ensemblesonne-news.jimdo.com/
会場｜KOBE STUDIO Y3 http://www.cap-kobe.com
〒650-0003 神戸市中央区山本通3-19-8
TEL:078-222-1003　MAIL:info@cap-kobe.com
主催:C.A.P. 企画:アンサンブル・ゾネ

関連プログラム｜高知

高知県立美術館開館記念イベント「大野一雄映像上映会」

ダニエル・シュミット監督「Kazuo Ohno」

ダニエル・シュミット「KAZUO OHNO」(1995)、最後のソロ作品「花」(2001)等貴重映像をご覧頂けます。
日程｜11月3日[金・祝]〜4日[土]
会場｜高知県立美術館ホール　入場無料
主催:高知県立美術館　協力:NPO法人ダンスアーカイヴ構想

岡登志子 ダンスメソッドワークショップ

ドイツNRW州立フォルクヴァンク芸術大学(1927年クルト・ヨースによって設立)で培われたダンスメソッドを中心に基礎訓練を行います。身体構造を分析しながら身体の中心、軸、重力、呼吸、そして取り囲む空間を実感し、身体表現のさらなる可能性を探ります。お申し込みの際には、ダンス経験についてお知らせください。
日時｜12月6日[水]19:00〜21:00
会場｜高知県立美術館ホール　参加費無料・定員20名
予約問合せ｜高知県立美術館 TEL:088-866-8000(9時〜17時)

Photo : Nourit Sekine

大野慶人「花と鳥」

[舞踏]大野慶人
[衣装]大野悦子、金光圭子　[音響]国府田典明　[照明]溝端俊夫

大野慶人自身による珠玉の小品「鳥の歌」(2013) に始まり、「ウサギのダンス」(2011) に終わる独舞踏です。その間に、土方巽が1985年大野一雄作品「死海」初演にあたり大野慶人のために振り付けた三作品「土方三章」を披露し、細江英公監督、脚本により1960年に制作された、土方巽、大野慶人出演の短編映画「へそと原爆」全編を完全上映します。映画に続いて、大野一雄「ラ・アルヘンチーナ頌」の冒頭「ディヴィーヌ抄」とそれに続く「少女」の踊りで構成される「死と誕生」の場面を、大野一雄自身が着た衣装を使用して踊ります。

大野慶人(おおの・よしと)

1938年東京に生まれる。1959年土方巽の「禁色」で少年役を演ずる。60年代の暗黒舞踏派公演に参画。69年初リサイタル後に舞台活動を中断、85年「死海」で大野一雄と共演、カムバックした。86年以降大野一雄の全作品を演出。ヴッパタール舞踊団ダンサーとの共演「たしかな朝」(2010)、音楽家アントニーとの「Antony & Ohnos」(2010)などコラボレーション作品の他、ソロ作品「花と鳥」(2013)はヨーロッパ(2014)、ブラジル(2015)、中国(2016)を巡演。著書に『大野一雄　魂の糧』(フィルムアート社)、『舞踏という生き方』。近刊に四方田犬彦著『大野慶人の肖像』(Canta Co.Ltd)。

「花と鳥」上演記録 2013-2017

2013 10月 初演　横浜(大野一雄フェスティバル)
2014 3月 ミュンヘン(ドイツ)、ボローニャ(イタリア)、バルセロナ(スペイン)
2015 4月 横浜(慶應義塾大学来往舎)
7月 ブラジルツアー:リオデジャネイロ、弓場農場、サンパウロ
10月 横浜(大野一雄フェスティバル)
11月 ポーランドツアー:ワルシャワ、クラコフ、ポズナン
2016 7月 札幌(札幌国際舞踏フェスティバルプレ企画)、第一次中国ツアー:北京、天津
9月 秋田
2017 9月 第二次中国ツアー:南京、上海、成都、北京
10月 秋田

Dance Archive Project 2017 in Kobe and Kochi　ダンスアーカイヴプロジェクト作品 4都市巡回公演

Photo : 松本和幸

岡登志子、垣尾優「手術室より」

[振付]岡登志子　[スネアドラム演奏]大野慶人
[舞台美術]吉川陽一郎　[音響]国府田典明　[照明]溝端俊夫

1931年江口隆哉と宮操子はドイツにわたり、ドイツ表現主義舞踊の泰斗マリー・ヴィグマンに師事します。二人は、1933年ベルリンで「手術室」を発表しました。この作品は帰国後東京で上演され、大野一雄をいたく感動させました。数多く再演を繰り返した作品ですが、残されているのはわずかに一点の舞台写真と江口が語った言葉。資料から帰納することが困難であるなら、演繹的な方法によって作品世界に近づけないか。江口・宮の足跡をたどりながら、仮説的な再構を試みます。

岡登志子(おか・としこ)

神戸生まれ。ドイツNRW州立フォルクヴァンク芸術大学舞踊科卒業。アンサンブル・ゾネ主宰。現代を生きる人間に共通する身体を通し、人間の実存を問う作品づくりを行い、年1回のペースで新作を発表。近作に「白い夜」「迷い」「飛ぶ教室は 今」など。即興公演では、音楽家や美術家、スポーツ選手との共演も多数ある。2014年神戸長田文化賞受賞。

垣尾 優(かきお・まさる)

2004年から現在まで、岡登志子主宰アンサンブル・ゾネ作品にゲスト出演。2006から2009年、contact Gonzoとして活動。2014年、ノーラ・チッポムラ「父のような自画像」、松本雄吉×ジュン・グエン・ハツシバ×垣尾優「Sea water」等に出演。

吉川陽一郎(よしかわ・よういちろう)

1955年鹿児島県生まれ、宮崎県都城市、神奈川県横浜市で育つ。1980年多摩美術大学美術学部彫刻学科卒。1996年〜2002年まで、Bゼミスクーリングシステム講師をつとめる。2001年〜2007年、武蔵野美術大学造形学部彫刻学科非常勤講師、2007より多摩美術大学美術学部彫刻学科非常勤講師。個展に、路地と人「裏無いの小部屋」(東京 2016)、ギャラリー・ル・デコ「クサマクラ一号を紹介シマス」(東京 2013)、プラザ・ギャラリー「水溜りの下で」(東京 2012)などがある。

Photo : Maria Arteaga

川口隆夫「大野一雄について」

[コンセプト・演出・出演]川口隆夫　[振付]土方巽、大野一雄
[ドラマトゥルク・サウンド・映像]飯名尚人　[照明]溝端俊夫　[衣装]北村教子

大野一雄の踊りを公演記録映像からコピーし、音響は記録映像の収録をそのまま使用、衣装、照明は当時のオリジナルデザインに倣っています。
「O氏の肖像」(長野千秋監督1969)と「死と誕生」(「ラ・アルヘンチーナ頌」の冒頭シーン)に着想を得たパフォーマンス、「わたしのお母さん」初演映像(1981)より「胎児の夢」「愛の夢」「ショパンピアノ曲のアンコール」、「死海」ジュネーブ公演映像(1985)より「ジプシー男爵入場行進曲」、「ラ・アルヘンチーナ頌」初演映像(1977)より「日常の糧」「天と地の結婚」「タンゴ」、途中、大野慶人が大野一雄指人形を使って踊る短編映像(必見!)が挿入されます。

川口隆夫(かわぐち・たかお)

1996年よりパフォーマンスグループ「ダムタイプ」に参加。並行して 2000年よりソロ活動を開始。主な作品に「ディケノヴェス　- 見えないと言え」(2003)、「D.D.D. — 私の心臓はあと何回鼓動して止まるのか?」(2004-2007)、「グッド・ラック」(2008)、「TABLEMIND」(2011)。近年は「病める舞姫をテキストに — 2つのソロダンス」(2012)、「大野一雄について」(2013)など舞踏についてのパフォーマンス作品を制作している。また東京国際レズビアン＆ゲイ映画祭のディレクター(1996-99)を務めるなど、その活動は多岐に渡っている。

「大野一雄について」上演記録 2013-2017

2013 8月 初演 d-倉庫「ダンスが見たい」フェスティバル (東京)、10月 大野一雄フェスティバル(横浜)
2015 2月 Dance Archive Project(横浜) 、9月 光州(韓国)、ミュンスター(ドイツ)、ザグレブ(クロアチア)、11月 春秋座(京都)
2016 5-6月 欧州ツアー：ブリュッセル(ベルギー)、ビルバオ(スペイン)、リスボン(ポルトガル)、8月 ジャカルタ、ジョクジャカルタ(インドネシア)、9-10月 北米7都市ツアー：ニューヨーク、ロサンゼルス、ピッツバーグ等
2017 1月 ノルマンディー(フランス)、2月 サンティアゴ・デ・コンポステラ(スペイン)、メルボルン(オーストラリア)、4-5月 メキシコツアー:ソノラ、メキシコシティー、8-9月 欧州南米ツアー：ウイーン(オーストリア)、ベルリン(ドイツ)、ワルシャワ、クラコフ(ポーランド)、カンピーナス、サルバドール(ブラジル)